

# (株)山共・山共フォレスト

東白川村・製造業(木材加工)・林業

平成30年度  
認定

子育て世代の働き方を支援するため、2012年度から子連れ出勤を導入。これまでに未就園児を持つ従業員3人の採用につながった。プライベートの充実が仕事のやる気につながるとの経営理念で、仕事とプライベートの両立を全面的に支援している。

従業員数/男性16名 女性4名 計20名 ※平成31年1月現在



障がい者サッカーの日本代表として世界大会に出場した熊崎将大さん。会社が仕事とプライベートの両立を全面的に支援している。

## 仕事とプライベートの両立を支援

製造業

2018年から「試し出勤規定」を設け、出産、育児、介護などで一定期間休職した従業員の復職を支援。育児休業を取得した従業員

1人が同制度を利用し、子連れ出勤を選択した。休業中の従業員には、月に1回携帯端末で仕事の進捗状況や社内の情報を連絡する。会社とのつながりを保つことで円

滑な復職に配慮しており、妊娠、出産、育児を理由とした退職者0人を維持している。

会社が県の従業員結婚支援団体に登録しており、県や市町村が行う結婚支援事業に関する情報を提供するなど従業員の結婚支援にも積極的。

地域貢献活動にも精力的で、従業員10人が消防団に入団し、消防団協力事業所として地域との連携体制を強化。有事の際は出勤扱いにし、消防団活動に従事できる体制を整える。就学前の子どもを対象とした「森のようちえん活動」では、森を散歩したり、とんかちを使いながら社内ですらなくなった木材でものを作る場を提供している。プライベートが充実することで仕事にも精一杯取り組めるとの考えで、仕事とプライベートの両立を全面的に支援している。サッカーに



地域貢献活動の一環として行われている「森のようちえん活動」では、地元の子どもたちにとって自然との触れ合いや木材を使って楽しく遊べる場となっている。

打ち込む製材部の熊崎将大さんは、障がい者サッカーの日本代表として2010年に開催された「第5回FIDサッカー世界選手権」に出場した経歴をもつ。現在もサッカーを続けており「サッカーの大会で仕事を休む時も快く送り出してくれる」と感謝している。